

## 平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 マックハウス  
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 舟橋 浩司  
 (氏名) 佐藤 幸人

TEL 03-3316-1911

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	10,663	△16.8	△148	—	△86	—	△444	—
22年2月期第1四半期	12,809	—	275	—	293	—	△38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第1四半期	△28.50	—
22年2月期第1四半期	△2.45	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第1四半期	29,021	14,253	49.1	914.04
22年2月期	31,557	14,854	47.1	952.53

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 14,253百万円 22年2月期 14,854百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年2月期	—	20.00	—	10.00	30.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期累計期間	21,410	△10.8	△490	—	△460	—	△980	—	△62.84
通期	44,790	△8.5	120	—	250	522.3	△760	—	△48.74

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	15,597,638株	22年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	3,133株	22年2月期	3,133株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年2月期第1四半期	15,594,505株	22年2月期第1四半期	15,594,604株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については6ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間(平成22年3月1日～平成22年5月31日)における我が国経済は、一部に企業収益回復の兆しが見られたものの、不安定な雇用情勢や所得の減少傾向が続き、依然として厳しい景況感の中で推移いたしました。

ジーンズカジュアル業界におきましても、景気低迷による生活防衛意識の高まりから低価格志向が強まるとともに企業間の価格競争が一層激しくなり、予断を許さない経営環境が続きました。

このような状況の中で、当社は、業績回復に向けて企業体質改善をすべく、引続き不採算店の見直しを推進し慎重な新規出店を行ない収益改善に努めてまいりました。また、立地特性に見合った商品構成への軌道修正を実施、親会社が保有する「セダークレスト」ブランドをアパレルで新規展開し品揃えを拡大するとともに、プライベートブランド「ラッシュアワー」に注力し若い女性をターゲットとした品揃えを充実させつつ、ファッション雑誌とのタイアップ企画によるプロモーション活動を行うなど積極的な展開も図ってまいりました。

併せて、小商圏型バラエティストアの実験展開を通じた業態転換による既存店舗のテコ入れ、モバイルによる情報発信の充実、エコ活動に配慮したジーンズ下取り継続等、新たな顧客層を開拓する諸施策を実施し売上高回復に努めてまいりましたが、個人消費の低迷と低価格志向の更なる高まりにより、客数・客単価がともに伸び悩んだため売上高が減少、当第1四半期会計期間の既存店舗売上高は前年同四半期比14.8%減と大苦戦をいたしました。

商品動向としましては、キッズが比較的堅調に推移した一方で、主力となるメンズ及びレディースのジーンズやカットソーが不振でした。

店舗の状況につきましては、新規出店7店舗、退店7店舗により、当第1四半期会計期間末店舗数は542店舗(前年同四半期比26店舗減少)となりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間における売上高は10,663百万円(前年同四半期比16.8%減)、営業損失は148百万円(前年同四半期は営業利益275百万円)、経常損失は86百万円(前年同四半期は経常利益293百万円)となりました。また、店舗の収益性が悪化したことを受け減損損失248百万円を計上したこと等により、四半期純損失は444百万円(前年同四半期は四半期純損失38百万円)となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,535百万円減少し、29,021百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2,312百万円減少し、19,821百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,789百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ223百万円減少し、9,200百万円となりました。これは主に閉店により敷金及び保証金が175百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ1,935百万円減少し、14,767百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ2,144百万円減少し、11,655百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,203百万円、ファクタリング債務が1,014百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ209百万円増加し、3,111百万円となりました。これは主に長期未払金が63百万円、長期リース資産減損勘定が129百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ600百万円減少し純資産は14,253百万円となりました。

これは主に四半期純損失を444百万円計上したことや剰余金の配当155百万円などによるものであり、総資産に占める自己資本比率は49.1%となり前事業年度末に比べ2.0ポイント増となりました。

### (1株当たり純資産額)

当第1四半期会計期間末における1株当たり純資産額は914円04銭となり前事業年度末に比べ38円49銭の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は投資活動はプラスとなりましたが、営業活動及び財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなり、資金は前事業年度末に比べ3,789百万円減少し、6,823百万円となりました。

また当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果減少した資金は、3,668百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純損失を393百万円計上するとともに、たな卸資産の増加額1,160百万円、仕入債務の減少額2,215百万円を計上したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られた資金は、57百万円となりました。

これは主に、敷金及び保証金の差入による支出を40百万円支出した一方で、敷金及び保証金の回収による収入が100百万円あったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、177百万円となりました。

これは主に割賦債務の返済による支出20百万円及び配当金の支払額155百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年4月9日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,237	12,026
売掛金	866	527
商品	10,158	8,998
前渡金	1	4
前払費用	484	481
その他	72	96
流動資産合計	19,821	22,133
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	228	232
建物附属設備(純額)	730	711
構築物(純額)	68	72
工具、器具及び備品(純額)	103	110
土地	238	238
リース資産(純額)	10	10
建設仮勘定	2	—
有形固定資産合計	1,381	1,376
無形固定資産		
借地権	106	106
商標権	0	0
ソフトウェア	110	127
無形固定資産合計	217	234
投資その他の資産		
出資金	0	0
長期前払費用	284	304
敷金及び保証金	7,267	7,442
出店仮勘定	20	22
破産更生債権等	6	6
その他	75	75
貸倒引当金	△52	△38
投資その他の資産合計	7,601	7,812
固定資産合計	9,200	9,423
資産合計	29,021	31,557

(単位:百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,219	7,423
ファクタリング債務	3,468	4,482
未払金	128	96
未払法人税等	67	142
未払消費税等	26	54
未払費用	1,052	850
預り金	26	56
前受収益	27	26
賞与引当金	152	111
店舗閉鎖損失引当金	178	186
リース資産減損勘定	286	315
リース債務	2	2
その他	17	50
流動負債合計	11,655	13,800
固定負債		
長期末払金	345	281
退職給付引当金	1,428	1,404
役員退職慰労引当金	114	112
転貸損失引当金	159	165
長期預り保証金	167	170
長期リース資産減損勘定	869	739
リース債務	8	8
繰延税金負債	19	19
固定負債合計	3,111	2,902
負債合計	14,767	16,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	7,341	7,942
自己株式	△5	△5
株主資本合計	14,253	14,854
純資産合計	14,253	14,854
負債純資産合計	29,021	31,557

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	12,809	10,663
売上原価	7,011	5,829
売上総利益	5,797	4,833
販売費及び一般管理費	5,522	4,981
営業利益又は営業損失(△)	275	△148
営業外収益		
受取利息	8	6
受取家賃	68	77
受取手数料	47	39
雑収入	11	9
営業外収益合計	134	134
営業外費用		
支払利息	0	1
不動産賃貸費用	59	69
転貸損失引当金繰入額	54	—
雑損失	2	1
営業外費用合計	116	72
経常利益又は経常損失(△)	293	△86
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
転貸損失引当金戻入額	13	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	9
特別利益合計	13	9
特別損失		
固定資産除却損	6	15
店舗閉鎖損失	1	6
減損損失	206	248
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	45
特別損失合計	214	316
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	92	△393
法人税、住民税及び事業税	169	51
法人税等調整額	△37	△0
法人税等合計	131	51
四半期純損失(△)	△38	△444

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	92	△393
減価償却費	75	67
減損損失	206	248
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	113	40
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	13
受取利息及び受取配当金	△8	△6
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	31	△6
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△7
支払利息	0	1
賃借料との相殺による保証金返還額	112	103
売上債権の増減額 (△は増加)	△694	△338
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,515	△1,160
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,964	△2,215
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	2
固定資産除却損	6	15
店舗閉鎖損失	1	6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	32	△27
その他	70	35
<b>小計</b>	<b>△4,414</b>	<b>△3,599</b>
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△589	△69
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,003</b>	<b>△3,668</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11	△2
無形固定資産の取得による支出	△1	—
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△40
敷金及び保証金の回収による収入	74	100
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△71</b>	<b>57</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△311	△155
リース債務の返済による支出	—	△0
割賦債務の返済による支出	—	△20
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△311</b>	<b>△177</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,387	△3,789
現金及び現金同等物の期首残高	12,432	10,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,045	6,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別	前事業年度	当事業年度	前年同四半期比	増減
		自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日	自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日		
メンズアウター		415百万円	396百万円	95.4%	△19百万円
メンズインナー		3,426百万円	2,674百万円	78.1%	△751百万円
メンズボトムス		2,440百万円	2,055百万円	84.2%	△385百万円
レディース		4,112百万円	3,275百万円	79.7%	△836百万円
その他		2,414百万円	2,259百万円	93.6%	△155百万円
合計		12,809百万円	10,663百万円	83.2%	△2,145百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。